



新年おめでとうございます



連合福岡
福岡県労福協

2012 新年賀詞交歓会

連合福岡・福岡県労福協共催で2012年1月6日(金)福岡市中央区「西鉄グランドホテル」において2012新年賀詞交歓会が開催されました。

新年賀詞交歓会には来賓及び構成組織などから約170名の方が出席されました。連合福岡・下田祐二事務局長の司会で開会。主催者を代表して挨拶に立った連合福岡・高島喜信会長は、東日本大震災の被災地の一日も早い復旧・復興・再生を訴えるとともに、経済再生への期待感を述べました。また政治の関係では、統一地方選挙を総括するとともに、民主党政権のこの一年の取り組みについて、解散総選挙をにらんで、国民目線での政権運営を切望した。連合・労福協運動では、



年頭の挨拶をする高島喜信会長

働くことを軸とする安心社会の確立にむけて、メンバーシップを維持しつつも、組織の垣根を越えた社会的運動(公益)の展開が求められているとの認識を示すとともに、構成組織へ新たな運動展開を要請し、年頭の挨拶を締め括った。

来賓挨拶では、小川洋福岡県知事、久保村日出男福岡労働局長、山崎一樹福岡市副市長、北橋健治北九州市長、松岡嘉彦福岡県経営者協会専務理事の5名の方から祝辞と連帯の挨拶を受けました。来賓挨拶の後、福岡県労福協・中村太良副会長(九州労働金庫福岡県本部長)の乾杯の音頭で懇談会に移りました。懇談会では、福岡県労福協・大原始事務局長より、行政・友好団体・事業団体・政党・議員の来賓紹介を行うとともに、政党及び連合議員懇の代表者から決意表明を含めて挨拶を受けました。懇談会では、テーブル毎に懇談の輪ができ、小川県知事や民主党衆参国議員等ご来賓は精力的に懇談の輪の中に溶け込んでいました。

開会から90分が経った17時30分、福岡県労福協・島村幸利副会長(全労済福岡県本部長)の挨拶と一本締めで新年賀詞交歓会の中締めを行いました。

今年は辰年です。十二支の動物のうち、実在しない架空の生き物は竜だけです。竜は天に昇るとされていることから、願いを込めて「上昇の年」となると云われています。ちなみに、中国から「竜」が伝わる前、日本で「タツ」というと、竜巻のことを指していたようです。どちらも空に向かって上るものなので、本年が色々な面において上向きになることを期待するものです。

ご来賓紹介



小川洋
福岡県知事



久保村日出男
福岡労働局長



ご来賓紹介



山崎一樹
福岡市副市長



北橋健治
北九州市長